

## 5 道づくりの指標



## ～わかりやすい項目で成果を評価し、道路に対する満足度向上へ～

これまでの道路整備では、整備目標を改良延長などの量で設定してきました。そのため、なぜ道路整備をしているのか、道路整備がどれだけの効果を生みだしてきたかが明確でなく、県民の皆さんには十分にその効果を伝えることができていませんでした。

これらの反省を踏まえて、平成15年度に作成した「愛媛 道ビジョン」において、量だけでなく、道路整備の結果から得られる成果による目標を検討しました。この成果による目標を設定することで、道路整備により目指すものが明確になり、量だけでははかれない効果を評価でき、ニーズに合わせた成果を設定することでより効果的な整備を行えるなどのメリットがあります。

「愛媛 道ビジョン 2016」では、従前の愛媛道ビジョンの考え方を継続するとともに、新たに発生した課題や社会的情勢なども考慮して、指標を見直すこととしました。

何より、成果を重視した道路整備を行うことで、今まで以上に高い道路整備効果を生み出すことができ、県民の皆さんの道路に対する満足度の向上につながると考えています。

## ●愛媛 道ビジョン 2016における道づくりの指標（案）

基本方向	指標となる項目	内 容
命を守る 道づくり	高速道路の整備率	高速道路（高規格幹線道路、地域高規格道路）が計画されている区間延長のうち、供用開始されている区間延長の割合
	緊急輸送道路整備率	緊急輸送道路の全延長のうち、道路改良がされている区間延長の割合
	緊急輸送道路の防災対策の整備率	緊急輸送道路において、防災対策（橋梁耐震対策、トンネル保全対策、法面防災対策）が必要な箇所のうち、対策が完了している箇所の割合
	橋梁の老朽化による全面通行止めの発生件数	橋梁の老朽化の進行に伴う全面通行止めによる社会的損失の発生件数
暮らしを支える 道づくり	拠点形成を支援する道路の改良率	旧役場と小学校等の中心集落を結ぶ道路延長のうち、道路改良がされている区間延長の割合
	大型車等すれ違い困難解消率	中山間地の道路のうち2車線化や待避所の整備（1.5車線的整備含む）により大型車を含めた全ての車が容易にすれ違いが可能な延長の割合により評価
	主要渋滞箇所解消率	平成25年に愛媛県渋滞対策協議会が公表した県下主要渋滞箇所のうち、解消した箇所の割合により評価
	市街地における歩道等の整備率	市街地の道路のうち広い歩道が整備されている延長の割合により評価
未来を拓く 道づくり	愛媛マルゴト自転車道の自転車交通量（休日）	愛媛マルゴト自転車道中上級者向け各コースの自転車交通量（休日）の伸び率により評価

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----